

業界レポート

鉄鋼製品卸売業



2026年3月

株式会社CCイノベーション コンサルティング部 ソリューショングループ

01. レポートサマリー

02. 基礎知識

03. 業界の動向

04. 今後の焦点

05. CCIのソリューション

01. レポートサマリー

基礎知識

- 鉄鋼製品卸売業者の商流における重要なポイントは、「流通経路」「取扱商材」「取引形態」である。
- 商品ごとに細かく設計・規格がなされるため、特定企業間の結びつきが強くなる特徴がある。
- 卸売事業のみでは利幅は少ないため、加工機能により付加価値をつけて差別化を図る事業者が多い。

業界の動向

- 国内の鋼材生産量は、人口減少にともなう住宅等建設向け需要の低迷、自動車分野での軽量化・EV化による鋼材使用量の減少などを要因に減少が続いている。
- 一方、世界的なインフラ投資や自動車・造船需要の回復による鋼材需要の増加、原料炭・鉄鉱石、電力などエネルギーコストの高止まり、円安による輸入原料価格の上昇を背景に、鉄鋼製品の価格は全類別総平均と比較し、大幅に上昇している。

今後の焦点

- M&Aによる規模拡大、加工機能の強化がトレンドである。
- 環境対応（ゼロカーボン対応）にも注目が集まっており、各社対応が迫られている。

02.基礎知識

鉄鋼製品卸売業とは

- 本レポートでは、主に鉄鋼の鋼材を卸売する業界を扱う。
- 鉄鋼・非鉄金属卸売業の市場規模は、総務省・経済産業省「経済構造実態調査」によると、2024年に販売額ベースで約27.8兆円である。
- 本業界の業績は、川上の鉄鋼メーカーの動向や市況及び鋼材価格の影響を大きく受けるほか、主力分野の建設や自動車などの需要動向にも左右される。



02.基礎知識

鉄鋼製品卸売業者の取扱商材

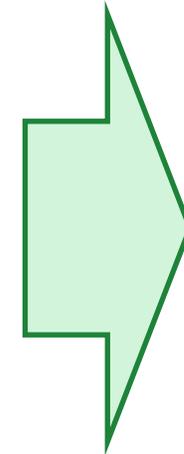
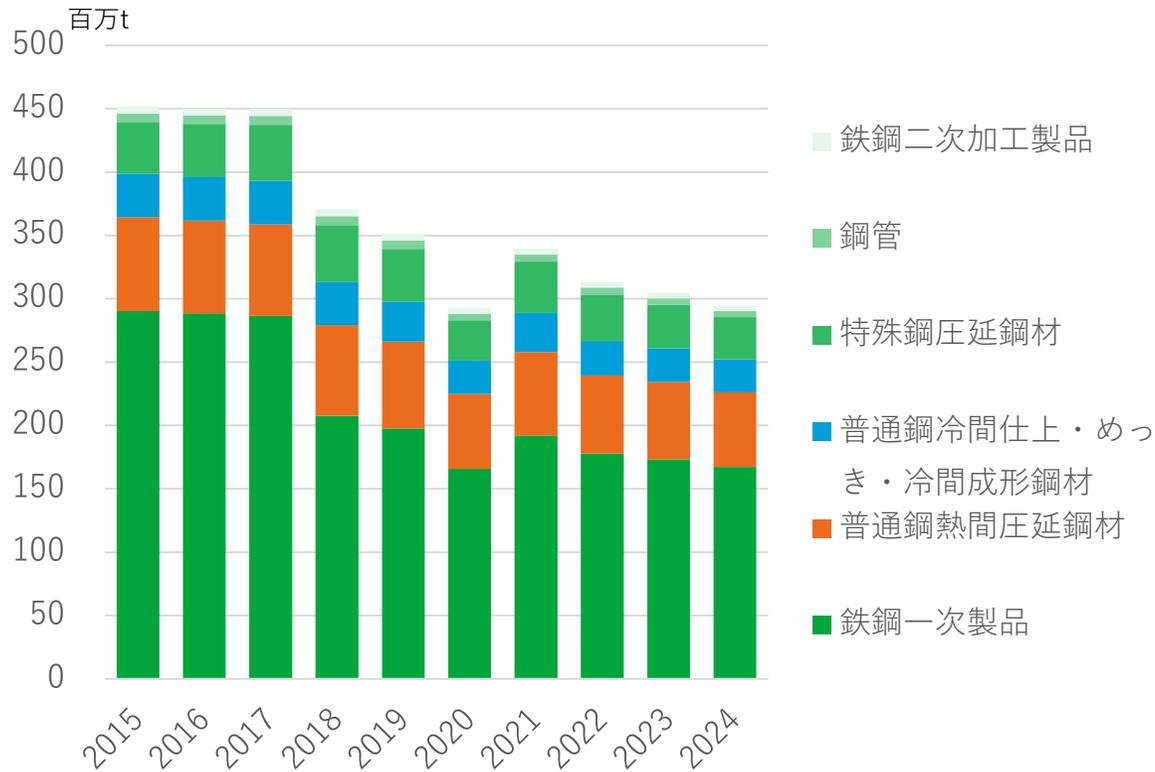
- 商品である鋼材は鋼材メーカーより仕入れる。需要先は自動車や造船、産業機械などの製造業や建設業が中心となる。
- 商品ごとに細かく設計や規格が存在するため、流通経路についても特定企業同士の結びつきが強くなりやすいという特徴がある。

	高炉材	電炉材
主原料	鉄鉱石・原料炭など	鉄スクラップ
特徴	各種合金の添加により、普通鋼から特殊鋼（鉄・炭素以外の元素を加え、鉄工に高度・強度などの特性を付加したもの）まであらゆる用途に対応が可能。	リサイクル品であり、用途は建築用などの普及品が中心となる。近年では高品質化が進んでおり、商材によっては高炉材のシェアを奪っているケースもある。
用途	幅広い （自動車用鋼板などの高級品、一般建築用等）	普及品 （建築品など）
製造	国内3社 （日本製鉄、神戸製鋼所、JFEホールディングス）	普通鋼電炉メーカー（東京製鐵など） 特殊鋼メーカー（大同特殊鋼など）

03. 業界の動向

鋼材生産量の動向

- 国内の鋼材生産量は、人口減少にともなう住宅等建設向け需要の低迷、自動車分野での軽量化・EV化による鋼材使用量の減少などを要因に減少が続いている。
- 国内需要の減退により、鉄鋼製品卸売業者においても国内での取扱量の減少が予想される。



今後の見通し

国内鋼材需要の更なる低下が懸念される

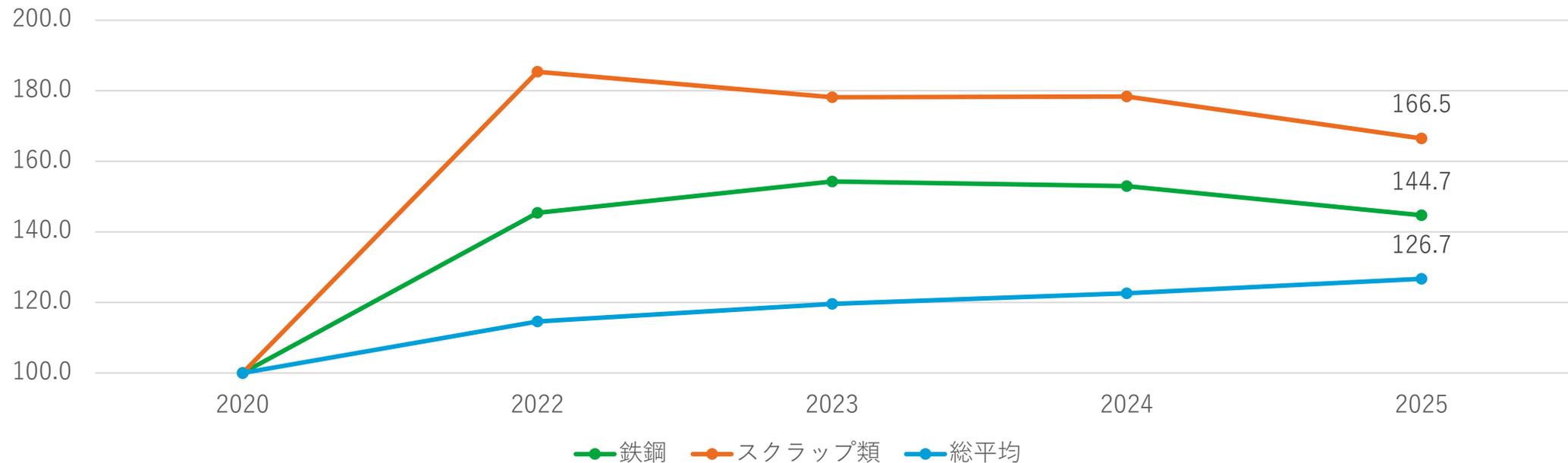
- 需要家の生産体制の海外シフトによる国内需要の減少
- 人口減少による国内建設市場の縮小

03.業界の動向

鉄鋼製品の価格動向

- 世界的なインフラ投資や自動車・造船需要の回復による鋼材需要の増加、原料炭・鉄鉱石、電力などエネルギーコストの高止まり、円安による輸入原料価格の上昇を背景に、鉄鋼製品の価格は全類別総平均と比較し、大幅に上昇している。
- 加えて、脱炭素対応で電炉比率が高まる中、鉄スクラップ需要が増え、供給制約が価格を押し上げている。

国内企業物価指数（2020年平均 = 100）

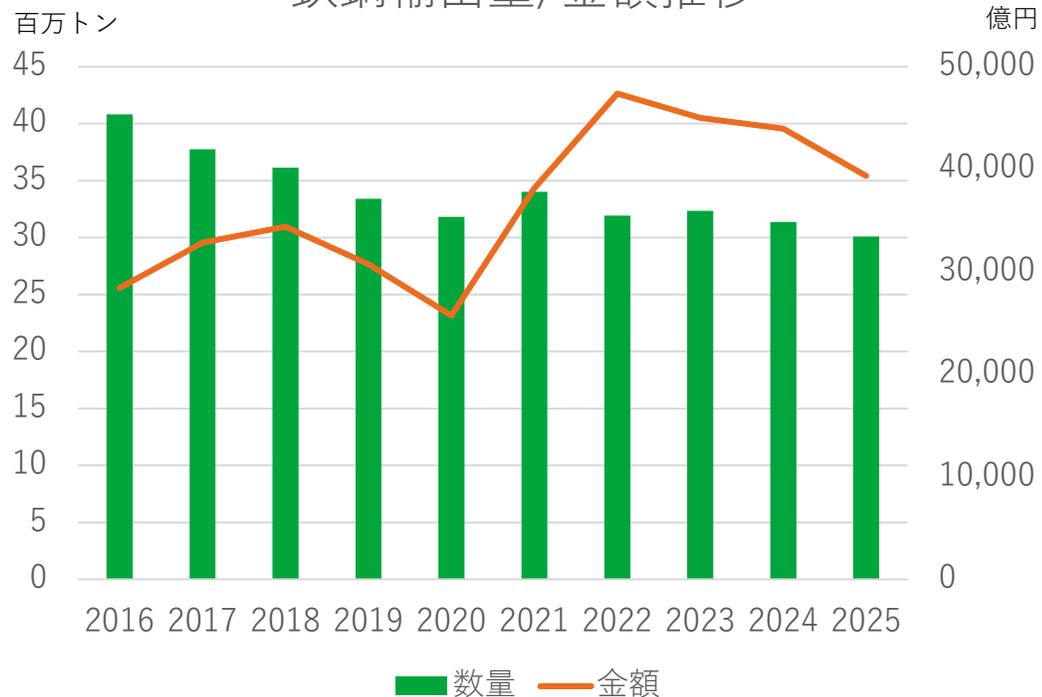


03.業界の動向

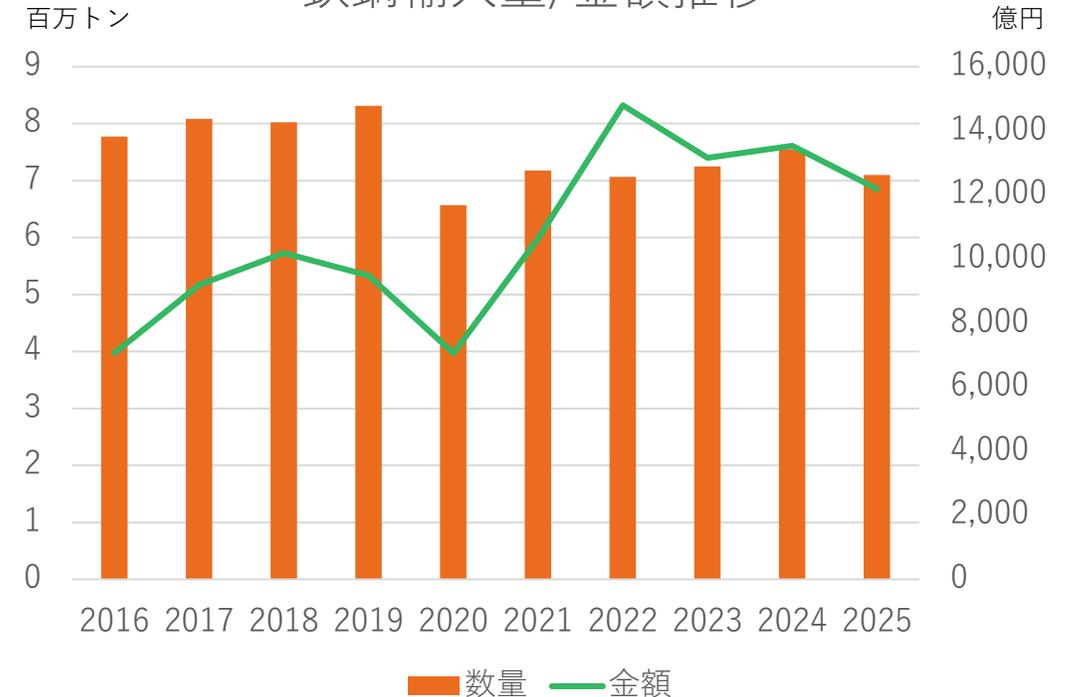
鉄鋼製品の輸出入動向

- 鉄鋼製品の輸出入量はゆるやかに減少している。
- 金額については、2020年のコロナ禍、2021～2022年はアフターコロナにおける各国の財政出動や中国の環境規制による供給制限、ウクライナ情勢で国際鋼材価格が乱高下した。

鉄鋼輸出量/金額推移



鉄鋼輸入量/金額推移



03.業界の動向

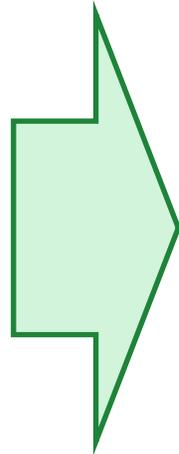
業界再編の動き

- 国内市場の縮小や需要の低下を背景に、販路や事業領域の拡大を目的とした再編事例が増えている。
- また、鉄鋼メーカーの事業再編に伴う工場休止による生産能力削減の影響を受け、購買能力の強化や業務効率化を目的とした一次卸同士の再編の動きもみられる。

隣接業界の動向

国内需要の低下

鉄鋼メーカーの
生産能力削減



鉄鋼製品卸売業界における再編の動き

一次卸



一次卸

- 購買能力の強化
- 在庫・物流の効率化
- 事業領域や地域の補完 等

一次卸

- 二次卸のサービス面での強み享受
- 販売エリアの補完、的確なニーズ収集



二次卸

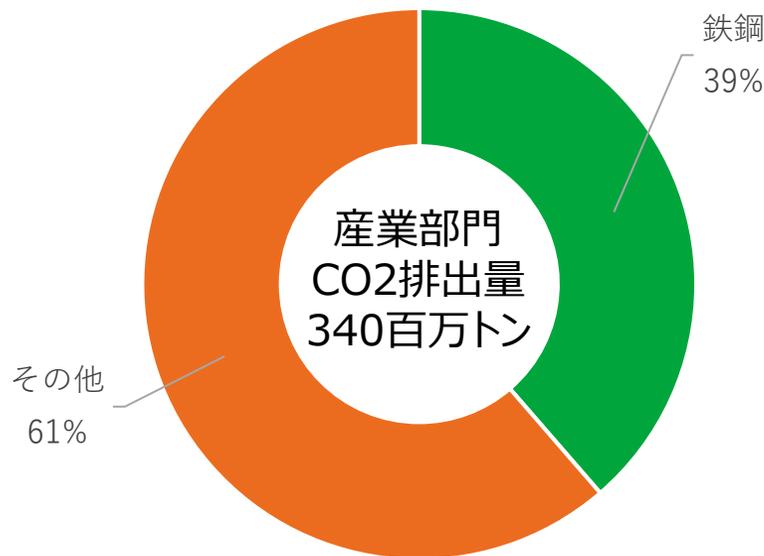
- 調達や利幅の安定化
- 一次卸の信用力の確保
- 事業承継・事業再生

03. 業界の動向

鉄鋼業界全体における脱炭素化の動向

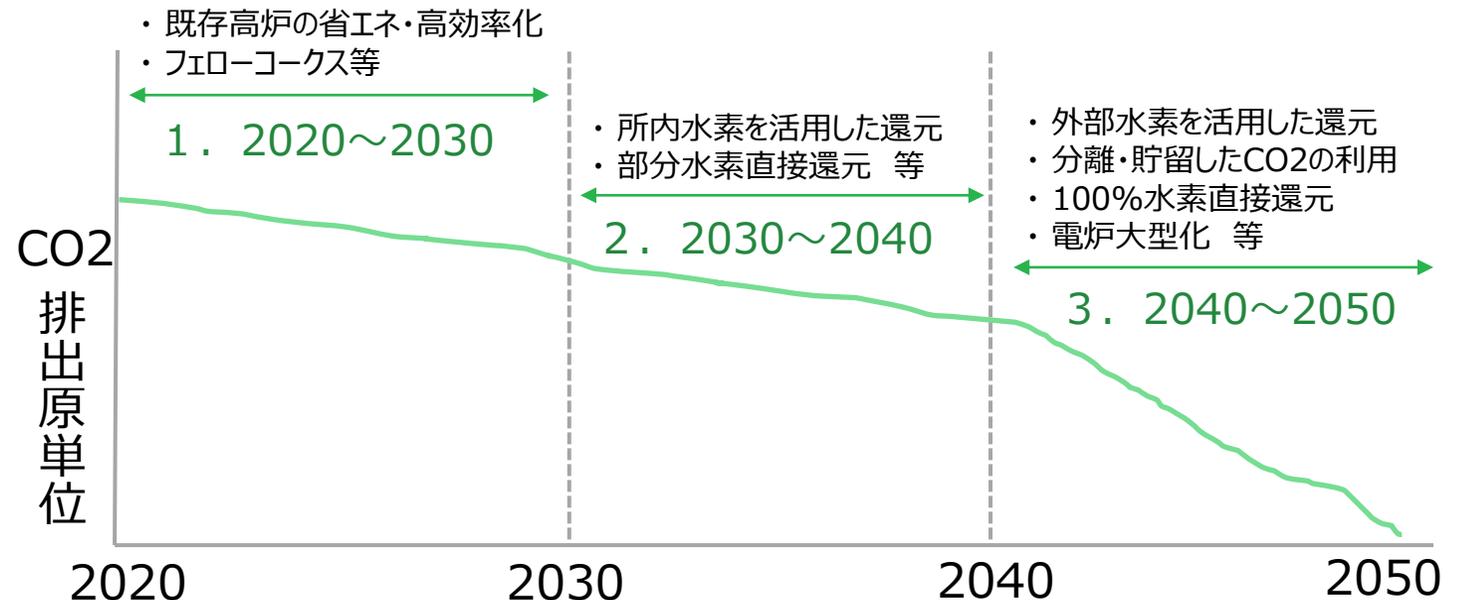
- 国内の産業部門のCO2排出量のうち約4割が鉄鋼業が占め、CO2排出量の削減が喫緊の課題となっている。
- 今後の各鉄鋼メーカーにおいて、CO2排出量削減への技術開発や大型設備投資が必要となる。そのため商品価格へ転嫁される可能性もあり、川下の鉄鋼製品卸売業者への影響も予想される。

国内CO2排出量の割合（産業別2023年度）



〔出所：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィスのデータ「日本の温室効果ガス排出量データ（1990～2023年度）確報値」より当社作成〕

CO2排出削減イメージ

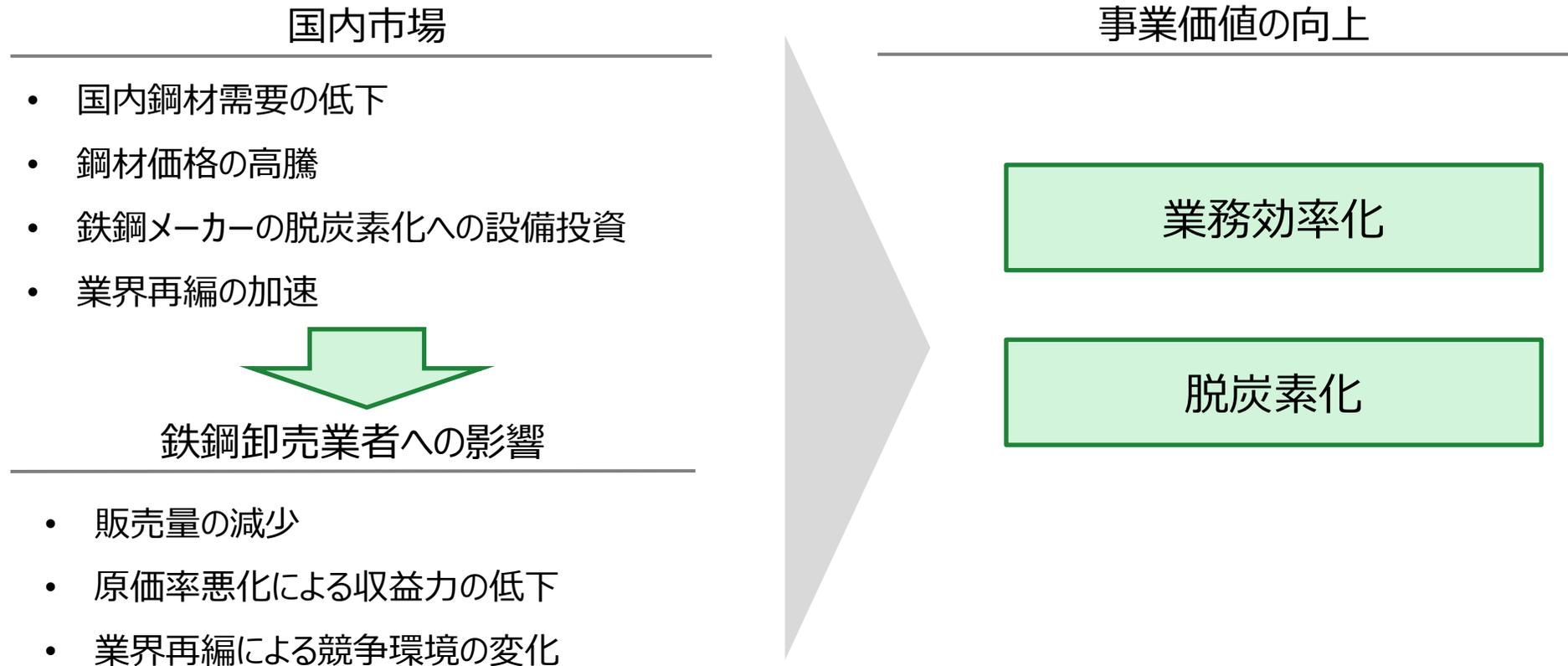


〔出所：経済産業省「トランジションファイナンス」に関する鉄鋼分野における技術ロードマップ」より当社作成〕

04. 今後の焦点

業務効率化による事業価値の向上と脱炭素への取り組み

- 国内需要の低下や鋼材価格の高騰、業界再編による競争激化など、今後も事業環境の悪化が予想される。
- 特に地場の鉄鋼製品卸売業者（二次卸）は、業務効率化による収益体質への改善が必要となるとともに、今後は脱炭素化に向けた取り組みもポイントとなる。



コンサルティングメニュー

経営戦略

- 経営理念、ビジョン策定
- 経営計画の策定
- 個別施策の立案

デジタルマーケティング

- Web広告導入、運用支援
- SEO改善支援
- メールマーケティング支援

業務効率化

- BPR企画・立案
- クラウド会計を活用した事務効率化
- 各種業務のマニュアル化

コストマネジメント

- 原価管理体制の構築
- 物件費削減に関する助言
- アウトソーシングの受託

人事制度・人材育成

- 人事評価制度の策定
- 賃金制度の設計
- 階層別・専門別研修の実施

海外展開

- 海外販路の開拓
- 海外拠点の設立に関する支援
- 貿易手続に関する助言

人材紹介

- 最適な人材マッチング
- 独自のネットワーク
- 人材定着サポート

ICT

- システム導入・更改のサポート
- 独自アプリによる生産性向上
- 社内コミュニケーションの活性化

M & A・事業承継

- 企業の売却・買収のコーディネート
- 企業価値算定に関する助言
- 経営の承継に向けた社内体制整備



- CCIではお客さまの課題を明確にとらえ、お客さまに最適なソリューションを提供します。
- CCIグループ各社、各業務提携機関がお客さまの成長戦略をご支援します。

- 本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、CCイノベーションとのお取引を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている意見などはCCイノベーションが信頼に足り、且つ正確であると判断した情報に基づき作成されたものではありませんが、その正確性、确实性を保証するものではありません。なお、本資料は、作成日において入手可能な情報等に基づいて作成したものであり、金融情勢・社会情勢等の変化により、内容が不正確なものになる可能性もあります。
- 本資料のご利用は、お客さま御自身の判断でなされるよう、また、必要な場合には顧問弁護士、税理士などの各種専門家にご相談いただきますようお願いいたします。
- 本資料の著作権はCCイノベーションに帰属し、本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じます。



当社のコンサルティングに
詳しい詳細はこちら

お問い合わせ



専門コンサルタントが
ご相談を承ります。
お気軽にご連絡ください！

LinkedIn



コンサルティング事例やセミナー情報を発信中
ぜひフォローをよろしくお願いします！

Facebook

